

広報活動について



広島市水道局企画総務課

広報活動について

1 各種広報媒体

様々なお客さまへ効果的な情報発信を行うため、各種媒体を活用した広報を行っています。

(1) オウンドメディア（注）

水道局公式ホームページでは水道料金のお手続きに関すること、水道事業の紹介、水道局の取組、災害情報、イベント情報、広報動画など、本市水道事業に関する様々な情報を発信しています。

水道局公式Xでは主に断水情報などの緊急性の高い情報を発信し、水道局公式Instagram（令和8年5月開設）では主に各種行事や水道事業の取組などを投稿しています。

注）オウンドメディアとは、会社やお店が自分たちで運営する情報発信メディアのことです。



※左から、[水道局ホームページ](#)、[広報動画](#)（YouTube 広島市公式チャンネル）[水道局公式X](#)、[水道局公式Instagram](#)、

(2) テレビ・ラジオ番組

広島市の広報番組では、安全でおいしい水道水のPR、水道事業の取組、水道管の防寒対策のお願いなどを広報しています。

ケーブルテレビやラジオスポットでは、主に水道管の防寒対策のお願いを広報しています。

また、令和8年度は、広島経済大学の学生が中心となって運営するFMハムスターと協力し、水道事業の取組、PFAS情報及び熱中症対策などについて広報しています。

① [広島市の広報番組](#)

番組名	令和8年度放送内容	放送日等
広島テレビ 「馬場のぶえのひろしま脳トレ」	検定満了水道メーターの取り換えについて	令和8年5月10放送（15秒告知） ※バックナンバー26年第6回
	水道管の更新と維持管理 暮らしを支えるインフラ整備！	令和8年6月7日放送 ※バックナンバー26年第10回
	水道管の防寒対策について	令和9年1月放送予定（15秒告知）
RCC テレビ 「元就。二百万一心！」	令和8年度放送予定なし （広島市・太田川源流の森の巻）	（令和7年6月7日放送 ※バックナンバー2025.06.04）

- ② ケーブルテレビ（ちゅピCOM）
- ③ ラジオスポット（広島FM）
- ④ FMハムスター（コミュニティFM放送局）

(3) 大型ビジョンやデジタルサイネージ（注1）

主に水道週間（注2）や水道管の防寒対策のお願いを掲載しており、令和8年度の水道週間は、以下①～③に加え広島駅と広島バスセンターのデジタルサイネージに掲載するとともに、広島駅南口地下広場と紙屋町シャレオにポスターを掲示しました。

水道管の防寒対策のお願いは、概ね12月下旬から2月中旬の間に掲載しています。

- ① 広島駅南口地下広場大型ビジョン
- ② 官民共同事業のデジタルサイネージ（ショッピングモールなど）
- ③ 各区役所のデジタルサイネージ

注1) デジタルサイネージとは、ディスプレイなどの電子的な表示機器を使用して情報を発信する媒体の総称です。

注2) 水道週間（毎年6月1日～7日）では、国土交通省、環境省、都道府県をはじめ各市町村の水道事業体等が広報活動などにより、水道の現状や課題について皆さまの関心と理解を深め、今後の水道事業の取組に理解を得るための催しを実施しています。



※左から水道週間のポスター、デジタルサイネージのイメージ（一定の間隔で表示が変わります。）

(4) 紙媒体

① 広島市などの広報紙

広島市をはじめ、給水区域である府中町及び坂町の広報紙にイベント参加者の募集、水道料金特例算定制度や水道料金の減免制度のご案内を掲載しています。

ア [ひろしま市民と市政（広島市広報紙）](#)

イ [広報ふちゅう（府中町広報紙）](#)

ウ [広報さか（坂町広報紙）](#)

② パンフレット

水道事業、広島市水道資料館、広島市・太田川源流の森などの紹介を行っています。

このほか、水道について学習する小学4年生向けに下敷き（副教材）を作成し、給水区域内の小学校に配付しています。



※左から、広島の水道（表紙）、下敷き（表）、下敷き（裏）

水道局が発行するパンフレットなどは、次のリンクからご覧いただけます。

[広報印刷物（パンフレットなど）](#)

2 各種行事

(1) 大規模イベントへの出店

① ひろしまフラワーフェスティバル

毎年、ひろしまフラワーフェスティバルに「水のひろば」を出展し、冷水サービスによる安全でおいしい水道水のPR、水道事業の施策や取組などを紹介するパネル展示などを行っています。

令和8年度は、老朽管更新をテーマとしたゲームや耐震体験管の展示及び太田川水系の上流域にある安芸太田町と連携したパネル展示を行いました。

実施日	展示内容
5月3日 ～ 5月5日	・冷水サービス ・「老朽管更新」をテーマとしたゲーム ・耐震体験管の展示 ・広報パネルの展示（浄水過程、水質検査、安芸太田町の紹介ほか） ・水道局マスコットキャラクター「じゃぐっちー」と安芸太田町イメージキャラクター「もりみん」との記念撮影 ・じゃぐっちーの顔出しパネルの設置ほか



※左から、水のひろば、耐震体験管の展示、じゃぐっちー・もりみん、じゃぐっちー顔出しパネル

(2) 地域行事への出展

主催者からご依頼をいただき、地域行事に出展しています（業務の都合により出展できないこともあります）。

行事	開催月	内容
牛田公民館ふるさとまつり	5 月	・水道資料館を活用したオリエンテーリング ・広報パネルの展示 ・ゲームコーナー
KOIKOI ふれあい水辺フェスタ	9 月	・冷水サービス ・パネル展示 ・ゲームコーナー
地域防災イベント	会場ごとに異なる。 (14 会場)	・飲料水兼用型耐震性防火水槽や給水車による応急給水体験 ・パネル展示など



※左から、牛田公民館ふるさとまつり、KOIKOI ふれあい水辺フェスタ、地域防災イベント

(3) 出前講座

ライフライン防災教室

水道、電気、ガス、通信企業の4者が合同で行っている災害対策に特化した出前講座で、小学4年生を対象に各ライフラインに関する災害対策について、体験学習を交えながら意識啓発を行っています。

注）給水区域内の小学校に募集案内を行い、応募多数の場合は抽選によって実施校を決定しています。

開催月	開催回数	内容
10 月～11 月	4 回（校）	・水道に関する講座の概要 水の重さを体験、給水車を実際に見る ・電気に関する講座の概要 ブレーカーの操作、「簡単ランタン」の作り方 ・ガスに関する講座の概要 ガスメーターの復帰体験、カセットコンロの炊飯 ・電話に関する講座の概要 公衆電話・災害用伝言ダイヤル「171」の使い方を体験



※ライフライン防災教室

(4) 太田川の恩恵を受ける水道事業体と連携して行っているもの

広島市は、「太田川流域水源涵養推進協議会（以下「協議会」という。）」の会員です。

この協議会は、太田川の恩恵を受ける水道事業体が連携し、太田川流域全体の水源涵養機能の保全を図ることを目的として平成11年に設立され、太田川源流域を活用した住民参加型の水源涵養意識啓発事業などを行っています。

詳しくは、次のリンクからご覧いただけます。

[太田川流域水源涵養推進協議会](#)

① 森林学習講座

7月から8月に公民館などで活動しているグループや個人を対象として、太田川の水のふるさと「広島市・太田川源流の森」（廿日市市吉和）や太田川の上流に位置する安芸太田町で森のはたらきや、豊かな森とおいしい水のかかわりについて、専門講師のもと体験学習を行っています。

令和8年8月19日（水曜日）に開催する森林学習講座の個人参加者の募集を令和8年7月31日（金曜日）まで行っています（応募多数の場合は抽選）。

詳しくは次のリンクの募集ページ等参照ください。

[「森林学習講座」参加者募集](#)

② 「太田川源流の森」森林保全活動

林業体験を通じて森林のはたらきについて認識を深めてもらうことを目的として、広島市の水源かん養林「広島市・太田川源流の森」（廿日市市吉和）で、森林保全活動（間伐体験）を行っています。

令和8年度は、広島市（府中町・坂町含む）・呉市・江田島市・大崎上島町にお住まいの方を対象に令和8年10月3日（土曜日）に開催予定です。

募集が始まりましたらホームページ等でお知らせいたします。



※左から、森林学習講座（2枚）、「太田川源流の森」森林保全活動（2枚）

(5) 下水道局と連携して行っているもの

① 『水道・下水道』施設見学会

下水道局が主催する施設見学会に、令和7年度から水道局が加わりました。水道及び下水道施設の役割や必要性などを学ぶことのできる見学会です。

夏休み期間中に、広島市内の小学校に通学する4年生～6年生と保護者(1組2人)を対象に開催されます。

開催月	開催回数	定員	見学場所
7月・8月	各月1回	各回とも20組(40人)	・水道資料館、牛田浄水場 ・千田水資源再生センター ・大州雨水貯留池

② 下水道ふれあいフェアへの出展

下水道局が主催する「下水道ふれあいフェア」に出展し、お客さまにとって身近な水道について下水道と併せて広報しています。

開催月	内容
9月	・給水機による冷水サービス ・広報パネルの展示 ・間伐材積み木を使用したゲーム



※左から『水道・下水道』施設見学会、下水道ふれあいフェア（2枚）

3 水道資料館

広島市水道資料館は、大正13年（1924年）に建築された送水ポンプ室を改修したもので、館内外の展示により広島市の水道やその歴史について学んでいただける施設です。

また、この建物は「被爆建物」として登録されているとともに、「近代化産業遺産」にも選ばれています。



※左から、広島市水道資料館、資料館上部の石額

(1) 屋内展示

1階は水道水が家庭などのじゃ口に届くまでの道のり、家庭での水の使われ方や節水方法、源流から下流までの自然やいきものなどを通して太田川の恵みなどについて紹介しています。

2階は広島市水道の歴史を学びながら、平和についても考えるフロアとなっており、明治31（1898）年に日本で5番目に近代水道として創設された、歴史ある広島市水道の歩みを学べるほか、原爆投下後も広島のにちに命の水を送り続けた職員のお話や被爆当日の取水ポンプと送水ポンプの運転日誌も展示しています。



※左から、広島の航空写真、創設当時の水道管、「原爆と広島市水道」

(2) 屋外展示

広島市水道資料館入口の左右には「深仁厚澤（しんじんこうたく）」（当時の内閣総理大臣 伊藤博文・筆）と「不舍晝夜（ちゅうやをおかず）」（当時の陸軍中将 児玉源太郎・筆）の石額があります。

資料館別館は、昭和のはじめに建築された量水室を改修したもので、現在は学習ルームとして利用しており、別館前には大正時代に牛田水源地に設置されたポンプと水道創設時に猿猴橋の上流に架設された水管橋の一部を展示しています。



※左から、「深仁厚澤」（上）「不舍晝夜」（下）、資料館別館及び取水ポンプ（左）送水ポンプ（右）、猿猴橋水管橋の一部

開館日などは、次のリンクからご覧いただけます。

[広島市水道資料館](#)

4 マスコットキャラクター「じゃぐっちー」

じゃぐっちーは、広島市の水道が、平成10（1998）年に100周年を迎えたのを記念して、生まれたキャラクターです。

チャームポイントは頭の「じゃ口」と「まあるいお腹」。水の妖精で、水を大切にする人のそばに必ずいます。

そして、じゃぐっちーは、お客さまが水道局に親しみを感じていただけるよう色々な姿、形で「安全でおいしい広島の水」をPRしてくれています。

じゃぐっちーの部屋



(1) 着ぐるみ

ひろしまフラワーフェスティバル、広報番組や広報動画などに出演しています。

イベントで見かけたときは、優しく接してあげてください。

[水道局公式X（水道週間PR動画）](#)



(2) 人形

広報動画に出演し、水道局関係施設やイベントなどを紹介しています。

[水道局公式Instagram（虹山丘調整池紹介動画）](#)



(3) 広報媒体（ホームページ・X・Instagram・パンフレット） やノベルティグッズ

広報の内容に合わせたポーズや表情でイラストや写真を掲載しています。



(4) LINEスタンプ

より身近に感じてもらうため、「じゃぐっちーLINEスタンプ」を作成しております。毎日のLINEでのやりとりに、ぜひご活用ください。



※左からLINEスタンプ第1弾、第2弾（QRコードからご購入いただけます）

(5) じゃぐっちー給水機

じゃぐっちーの人形をあしらったマイボトル対応型給水機です。

冷たい水道水で「安全でおいしい水道水」をPRしています。

通常は、水道局基町庁舎1階に設置していますが、ひろしまフラワーフェスティバルなどのイベント会場でもご来場者に利用していただいています。

[マイボトル対応の給水スポットを設置しました！](#)



5 今後の広報活動について

水道料金収入（給水収益）は、給水人口や水需要の減少に加え、コロナ禍の影響を受けて減少が続いています。一方で、浄水場やポンプを動かすための電気料金（動力費）の高騰や物価上昇により、水道施設の維持管理に必要な費用は増加しています。また、安全で安定した水道サービスを将来にわたって提供するためには、古くなった水道管の取替え（老朽管更新）や浄水場・配水池などの耐震化を計画的に進めていく必要があります、本市水道事業を取り巻く経営環境は厳しさを増しています。

本市の水道は、創設以来、市民の生活と都市の発展を支える重要な基盤として歩んできました。これからも水道をかけがえのない地域の財産として守り、次世代へと継承していくためには、お客さまとの信頼関係をより深め、相互理解を築いていくことがますます重要になるものと考えています。

こうした考えの下、今後の広報活動については、お客さまに本市水道事業への理解と関心をより一層深めていただけるよう、積極的かつ丁寧な情報発信に取り組み、将来にわたって信頼される水道であり続けるよう努めていきます。